



TITLE:

1940年8月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

1940年8月の天象. 天界 1940, 20(231): 264-261

ISSUE DATE:

1940-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168019>

RIGHT:

1940年

8月の天象

太陽 今月は“蟹座”から10日に“獅子座”に入り、その中央まで進む。8日の立秋を過ぎると、夏の暑さも次第に降り坂となる。時差は月初-6分餘から次第に減少、9月1日には0分となり、平均太陽は眞太陽に追いつく。カリントンの太陽自轉期の第1163期が世界時の19.71(日本標準時の20日2時2分)から始まる。

月 この月は4日に“蟹座”の中央で新月となる。この日が舊暦7月朔であつて、ブラウンの月相第218番も、この時から始まる。10日に“天秤座”の中央で上弦、18日に満月となつて“山羊座”から“水瓶座”に移る。26日には“牛座”のアルデバラン星の東方で下弦となる。3日に水星、4日に火星、7日に海王星と會合する。また25日には土星、木星、天王星と、30日に金星と會合する。土星との會合の際には22分角の距離にまで近づく。

水星 “双子座”の南東部から“蟹座”を横切つて“獅子座”に入る。次第に急速に太陽を追ひかけて行く。1日に停留、10日に西方極大離隔(離角18度57分)、16日昇交點通過、20日近點通過。3日1時に日と會合(月の北1度36分)する。光度は月初1等半から漸次増光して、月末には負1等半となる。曉の星である。

金星 “オリオン座”から“双子座”の南部を順行する。これも曉の星で、次第に太陽より離れつつある。3日に極大光度(光度-4.2等)を示し、月末には-4.0等まで漸減する。30日5時に月と會合する(月の北1度45分)。

火星 “獅子座”を順行中であるが、30日に太陽に追ひつかれるため、今月は觀望に適しない。

木星 “羊座”を順行中で、夜半以後の東天に、土星とその美を競ふ。光度は月初-2.0から月末-2.2に増し、視直徑も初37秒から末41秒と漸増。15日には土星の北1度15分に近づく。25日1時に月と會合(月の北1度39分)。7日には太陽の西方、丁度90度距り、ますます太陽より遠ざかる。

土星 木星と共に“羊座”を順行中で、木星の東南にあるが、15日には追ひ越され、28日停留、以後逆行に移る。7日には太陽から西方90度の點を通過し、次第に太陽から離れて行く。光度は月初0.5、月末0.4。視直徑は16.0秒から17.0秒と漸増。

天王星 “牛座”の西部、ブレイダスの西南を順行中であるが、9月1日に停留、以後逆行に移る。夜半を過ぎた東天に現れるが、光度がこの月の前半は6.1、後半は6.0、視直徑が3.5秒であるから肉眼ではむづかしい。25日22時には月が3度25分南方を通過する。

海王星 “乙女座” β 星の西北2度ばかりのところを南東に向つて順行中である。光度7.8。9月に太陽に追いつかれるため、もう観望の時期ではない。

冥王星 “蟹座”の γ と λ の間邊を順行してゐることを覚えておく程度でよい。大望遠鏡なしには到底見ることは出来ぬ。

流星 8月は流星観測にめぐまれてゐる。今年は、有名なペルセウス流星群は、その最盛期たる10—15日が満月に近いため観測はやりにくからう。が、その他の流星群も少なくないのであるし、月明を避けて、夏の夜の一時をこれに費すのは意義あることと思ふ。

黄道光 曉の東天に次第に明るくなる、金木土三遊星の光輝が相當の障礙となることは覺悟せねばならぬ。下旬は、その上、月光にも妨げられる。

八月の星座 美しい銀河が天を横ぎつて流れ、その間に、興味深い夏の星座が散在する。南天には、雄大な“蛇造ひ”と“蛇”，見事な“蝸”の星列，“射手”の星座等、明るい星も多くあり、小望遠鏡の對象たる星團や星霧も銀河を中心として豊富に存在する、この附近は銀河も明暗入り亂れて、なかなか複雑である。仰げば中天には“ヘルクレス”，“琴”，“鷲”，“白鳥”等、南天の豪華さはないが、何れも夏の香高き星座が眺められる。牽牛織女の七夕祭も8月10日の宵を賑はす星祭りである。この附近は銀河に沿ふて古來“新星”の多く現れた箇所であり、絶えず注目を要するところである。

北天に眼を移せば，“大熊”は既に西に没せんとし，“熊”，“小熊”，“セフェウス”等の星々が輝いてゐる。

支那の星座 本誌223號から始めて、毎號の附録に支那星座の主なものを一部分づつ掲げて來たが、こゝに最後の第8圖を掲げて、一通りの紹介を終る。多少の重複はあるけれど、東亞文化史の再研究といふ立前からよく覚えて頂きたい。こゝには“斗”，“牛”，“女”，“虚”，“危”，“室”，“壁”の7宿で、二十八宿中の残りのものを表はす。何れ、支那の星座に關する詳細な説明は次號あたりの本文に載せるつもりである。



支那星座の圖 (8)

八月の天體曆表

日附	七曜	正午月齡	干支	天 界 現 象 (日本標準時)	ユリウス日 (21時)
1	木	26.6	丙子	{金星と月と會合(6時) 水星が西留 (18時) 冠Vと白鳥STとR Herが極大	2429843.0
2	金	27.6	丁丑		844.0
3	土	28.6	戊寅	{金星が極大光輝 水星が月と會合(2時) T Peg が極大	845.0
4	日	0.3	己卯	新月 舊七月朔 火星と月と會合(23時)	846.0
5	月	1.3	庚辰	獅子RSと乙女Uが極大	847.0
6	火	2.3	辛巳	獅子Vが極大	848.0
7	水	3.3	壬午	海王星と月と會合(5時)	849.0
8	木	4.3	癸未	立秋 RT Her と獅子Rが極大	850.0
9	金	5.3	甲申	山羊Tと狐RXが極大	851.0
10	土	6.3	乙酉	{上弦 七夕祭 水星が西方極大離角 (19時, 18°57') 白鳥AAが極大	852.0
11	日	7.3	丙戌	狐RWが極大	853.0
12	月	8.3	丁亥	狐RUが極大	854.0
13	火	9.3	戊子	蜥蜴RUと孔雀Rが極大	855.0
14	水	10.3	己丑	蛇Tが極大	856.0
15	木	11.3	庚寅	{木星と土星と會合(22時, 木星が 1°15'北) 天秤SWが極大	857.0
16	金	12.3	辛卯	小獅Rが極大	858.0
17	土	13.3	壬辰		859.0
18	日	14.3	癸巳	于食盆會 満月 S Octが極大	860.0
19	月	15.3	甲午	W Cen と RV Peg が極大	861.0
20	火	16.3	乙未	水星が近日點に(17時) X Camが極大	862.0
21	水	17.3	丙申	RT Eri と SX Eri と牛Vが極大	863.0
22	木	18.3	丁酉	水瓶Xと鷲WWとRV Cenが極大	864.0
23	金	19.3	戊戌	處暑 鷲RSが極大	865.0
24	土	20.3	己亥	Y Ori と 蛇遣 RTが極大	866.0
25	日	21.3	庚子	{土星と月と會合(1時) 木星と月と 會合(2時) 天王星と月と會合(22時)	867.0
26	月	22.3	辛丑	{下弦 金星が遠日點(10時) 駭者Xが極大	868.0
27	火	23.3	壬寅	山猫Uと射手RUが極大	869.0
28	水	24.3	癸卯	土星の東留 RR Ori が極大	870.0
29	木	25.3	甲辰		871.0
30	金	26.3	乙巳	火星が太陽と會合 金星と月と會合(5時)	872.0
31	土	27.3	丙午	蛇Rが極大	873.0